

2017年度

市川ライフステージ大学

＜千葉商科大学 履修証明プログラム＞

シラバス

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

地域連携推進センター

【科目名】

⑧ マーケティング

【担当者名】

赤松 直樹

【開講時期】

第3期 月曜日6限

【講義内容】

消費者行動研究の知見にも言及しながら、マーケティングに関する基礎的な知識を修得することを目的とします。その際には、身近なマーケティング現象を事例として挙げながら講義を進めていきます。

【講義の到達目標】

マーケティングに関する基礎的な知識を利用しながら、消費者視点からマーケティング現象を分析できる能力を身につけることです。

【準備学習等の指示】

講義の最後に次回の講義内容について触れますので、それに関連すると思われる新聞記事やテキストなどに目を通し、内容を予め確認しておいて下さい。

【授業計画】

- 第1回 マーケティングと消費者行動
- 第2回 セグメンテーションとターゲティング
- 第3回 製品対応と価格対応
- 第4回 流通チャネル対応とプロモーション対応
- 第5回 マーケティングと消費者の意思決定プロセス
- 第6回 マーケティングと消費者知識(ブランドの知識)
- 第7回 マーケティングと消費者を取り巻く情報環境
- 第8回 マーケティング・リサーチとまとめ

【評価方法】

講義内レポートも含め、いくつかのレポートを提出してもらいます。レポート内容と講義貢献度を加味して評価します。

【履修上の注意】

特にありません。

【参考文献】

「マーケティング戦略」、和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦
「1からの消費者行動」、松井剛・西川英彦 編著

【科目名】

⑨ 子育て・家族サポート論

【担当者名】

齊藤 紀子

【開講時期】

第3期 土曜日1限

少子高齢化が進む日本社会において、様々な課題が山積している。①どのような経緯で少子化・高齢化が進んで今日に至ったのか、②どのような課題があるのか、③どう取り組んでいけばよいのかを考えていく。一方的な講義ではなく、受講者とともに議論し、考える場になりたい。

【講義の到達目標】

少子高齢化問題の背景や現状を踏まえ、受講生がそれぞれ、子育て支援・高齢者支援などの具体的プロジェクト(ボランティア/ソーシャルビジネス)を構想する。

【準備学習等の指示】

少子高齢化問題について、新聞やニュースなどにより情報収集を進めておくこと。自分には何ができるか、考え、メモを作成しておくことが望ましい。

【授業計画】

第1回 イン트로ダクション

第2回 少子高齢化社会:定義、課題

第3回 少子高齢化社会:経緯と現状

第4回 少子高齢化分野の課題解決の取り組み—(ボランティアと)ソーシャルビジネス

第5回 ソーシャルビジネスのマネジメント1(ソーシャル・イノベーションの創出プロセス)

第6回 ソーシャルビジネスのマネジメント2(ソーシャル・イノベーションの普及プロセス)

第7回 プロジェクト構想の策定・検討

第8回 プロジェクト構想の発表・相互評価

【評価方法】

8回のうち5回以上出席し、講師が指示する課題を提出した受講者には履修を認定する。

【履修上の注意】

受講者間の議論・相互コメント、全体での意見表明などに積極的に臨むことを求める。

【参考文献】

・谷本寛治編著(2015)『ソーシャル/ビジネス/ケース—少子高齢化時代のソーシャル/イノベーション』中央経済社

・松田茂樹(2013)『少子化論-なぜまだ結婚、出産しやすい国にならないのか-』勁草書房

【科目名】

⑩ 地域資源論

【担当者名】

鈴木 孝男

【開講時期】

第3期 土曜日2限

【講義内容】

地方創成、地域活性化が国政上の大きな課題になっている。この問題を解決するには、産業の力を借りる必要がある。したがってこの講義では地域における産業のあり方が重要な柱になる。

また、地域に産業を起こすためには何らかの地域資源を見いだす必要がある。この点についても説明する。

【講義の到達目標】

地域や産業についての基礎的な知識を持ってもらう。また、これまでの日本や海外の産業の発展に関する事例も理解してもらいたい。こうした学習を踏まえて、最終的には地域を発展させる上で何か必要かについて、理解してもらうことを目標にしている。

【準備学習等の指示】

特になし

【授業計画】

- 第1回 地域とは何か
- 第2回 産業とは何か
- 第3回 地域の活力と産業
- 第4回 特定地域と産業との結びつき
- 第5回 発展している地域の特徴
- 第6回 地域活性化政策について
- 第7回 地域資源の開発
- 第8回 地域の発展と人材

【評価方法】

8回のうち5回以上出席し、講師が指示する課題を提出した受講者には履修を認定する。

【履修上の注意】

特になし。

【参考文献】

特になし。

【科目名】

⑪ アニメーション表現

【担当者名】

上田 裕子

【開講時期】

第3期 土曜日3限

【講義内容】

Adobe After Effects によるアニメーション制作。

【講義の到達目標】

自主アニメーションを mp4 形式(PC 上で再生可能)で書き出せる様にする。

【準備学習等の指示】

自主アニメーションの題材と描く方法を決めておく事。

Adobe Illustrator や Adobe Photoshop 等、絵を描くソフトが使える事。

もしくは、手書きの元絵の読み込みも可能。

(スキヤニングの時間を要する事を考慮するように)

【授業計画】

第1回 アニメーションの考え方・作り方

(自主アニメ用「ショートアニメの絵コンテ」を第5回までに作る)

Adobe After Effects にて「読み込み・編集・書き出し」一連の手順

第2回 Adobe After Effects にて「図形や文字のアニメーション」作成

第3回 Adobe After Effects にて「3D 表現」「エフェクト」の使い方

第4回 Adobe After Effects にて「パペットアニメ」の使い方

第5回 自主アニメーション作品制作(絵コンテを元に方法論を考える)

第6回 自主アニメーション作品制作(元絵の読み込み～編集)

第7回 自主アニメーション作品制作(動きのチェック・書き出しのチェック)

第8回 自主アニメーション完成・作品発表(コマアニメ・コンバータ HP 紹介)

【評価方法】

全8回のうち5回以上出席し、講師が指示する課題を提出した受講者には履修を認定する。

【履修上の注意】

なし。

【参考文献】

なし。

■お問い合わせ先■

千葉商科大学 地域連携推進センター「市川ライフステージ大学」係

〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1

TEL:047-320-8667(ダイヤルイン) FAX:047-373-9958

E-MAIL:cucr@cuc.ac.jp

<事務取扱時間 月～金 9:00～17:00(平日のみ)>

※このシラバスの記載内容は変更する場合があります。